

令和8年度 さいたま市立馬宮中学校 家庭科 シラバス 3年

<h2>技術・家庭科の目標</h2>	<h2>評価の観点等</h2>
<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>評価の観点</p> <p>①知識・技能</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p>
<h2>学習の特色</h2>	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の成長と家族や家庭生活、地域の人々との関わりが分かる。 ○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わりについて理解している。 ○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 <p>☆定期テスト、課題、プリント、発表</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児との関わり方について問題点を見いだして課題を設定している。 ○幼児の心身の発達に応じた間食について考え、工夫している。 ○幼児との関わり方について考え、理解している。 ○高齢者など地域の人々との関わり協働する方法についての計画を考え、工夫している。 <p>☆定期テスト、課題、プリント、発表</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○幼児の食生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児生活と家族について工夫創造し、実践しようとしている。 ○家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 <p>☆自己評価カード、課題、プリント、発表</p> <p>評価規準：○ 評価方法：☆</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返ることを通して、家族や家庭生活、地域の人々との関りやじぶんも通ってきた幼児期について考える。 ・幼児の心身の発達と生活の特徴、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解することができる。 ・幼児期における周囲の人との関わり方や家族の役割について考える。 ・幼児にとっての遊びのもつ意義や幼児との関わり方について理解することができる。 ・幼児の様々な遊びの種類について思い起こし、それらにより促される発達について考える。 ・幼児の心身の発達を踏まえ、幼児のための間食を考える。 ・幼児と触れ合うなどの活動を通し、幼児への関心を高め、よりよい関わり方について考え、工夫することができる。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。 	